

# 倉石地区 農業集落排水処理施設







## ごあいさつ

快適で住みよい町づくりをめざし、整備を進めてまいりました倉石地区農業集落排水事業が完工の運びとなりましたことは、国・県の多大なご助力と町民の皆さんのご協力の賜と心から敬意と感謝申し上げます。

本事業は、旧倉石村が昭和52年農村総合整備モデル事業の指定を受け、県下に先駆けて中市・浦田地区を皮切りに取り組んで以来、30年近くの年月と約43億5千万円の事業費を投入し、このたび倉石東部地区の完成をもって計画区域が全て完了いたしました。

下水道の整備は、地域住民の清潔な暮らしと若年層の定住を促し町の活性化が図られるとともに、生活様式の多様化や高度化の到来に伴い、近年問題となっている環境汚染の防止に欠くことのできないものであります。

特に、生活雑排水等による水質汚濁が問題となっている現状にあって、農業を主体とする倉石地区では消費者が求める安心・安全な農産物の生産が急務となっていますが、農業集落排水整備事業の完工は消費者の信頼をより深め、一層の農業振興が図られるものと確信しております。

今後は、整備されました施設が文字通りクリーンな地域づくりの核となって潤いと、まとまりのある町づくりに貢献していくためには、加入率向上が大きな鍵となってまいりますので、町民の皆さんの深いご理解とご協力をお願いいたします。

平成17年2月15日

五戸町長 三浦正名

## 施設概要

項目		中市・浦田 <sup>(※)</sup>	石 沢	又 重	倉石東部	
地区 の 概 況	区域面積 (ha)	42	20	122	86	
	総人口 (人)	826	535	1,281	452	
	農家人口 (人)	737	434	1,105	389	
	総戸数 (戸)	218	127	298	110	
	農家戸数 (戸)	161	103	257	88	
処理 計画	計画人口 (人)	1,100	1,000	1,440	880	
	計画戸数 (戸)	217	247	326	144	
	日最大汚染水量 (m <sup>3</sup> /日)	330	330	475	290	
処 理 施 設	流入水質	BOD (ppm)	200	200	200	200
		SS (ppm)	200	200	200	200
	流出水質	BOD (ppm)	20	20	20	20
		SS (ppm)	50	50	50	50
処 理 方 式	接触ばつ気方式 (JARUS-I型)	嫌気性ろ床接触 ばつ気方式 (JARUS-III型)	嫌気性ろ床接触 ばつ気方式 (JARUS-III型)	回分式活性汚泥 方式 (JARUS-XI型)		
敷地面積 (m <sup>2</sup> )	1,500	2,092	2,000	1,600		
管 路 延 長 (m)	7,565	4,533	13,697	9,565		
中 継 ポ ン プ (箇所)	3	3	19	15		
事 業 費 (千円)	625,400	916,200	1,890,300	919,000		
供 用 開 始 年 月 日		昭和61年4月1日	平成8年2月1日	平成13年4月1日	平成16年10月1日	

(※) 中市・浦田地区は、機能強化対策(平成12~13年度実施)分を含む。

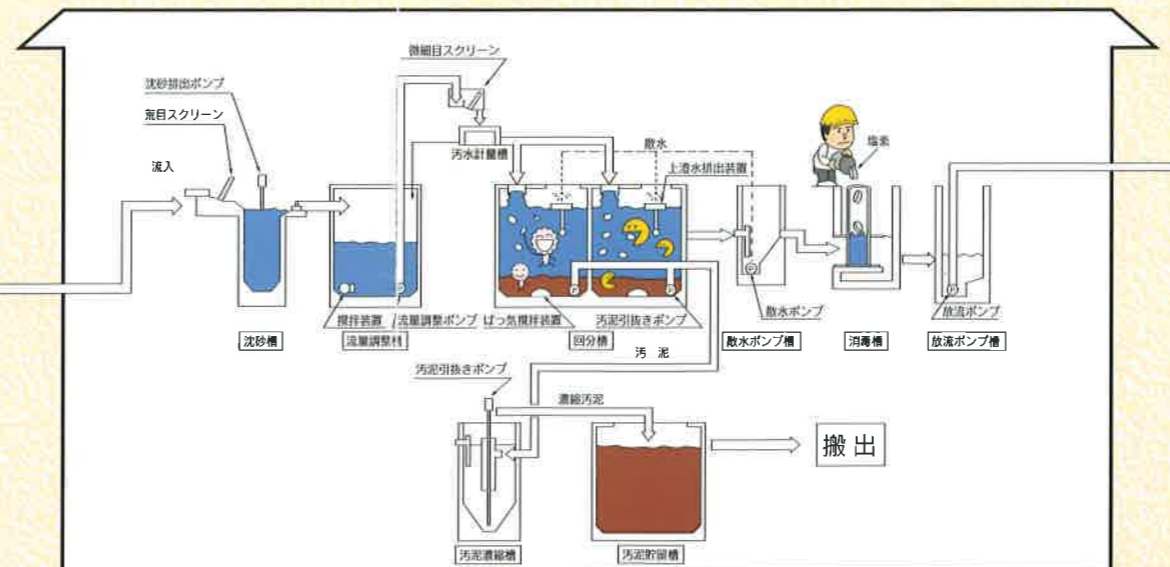
### 集落排水事業の経過

- 昭和52年 農村総合整備モデル事業地域指定を受ける
- 54年 農村総合整備モデル事業の一環として中市・浦田地区処理施設着工
- 61年 中市・浦田地区処理施設供用開始(4月)
- 62年 中市・浦田地区処理施設工事完了
- 平成5年 石沢地区処理施設着工
- 8年 石沢地区処理施設供用開始(2月)
- 9年 石沢地区処理施設工事完了
- 又重地区処理施設着工
- 13年 中市・浦田地区(機能強化対策事業)着工(3月)
- 又重地区処理施設供用開始(4月)
- 又重地区処理施設工事完了(5月)
- 14年 中市・浦田地区(機能強化対策事業)完了(3月)
- 倉石東部地区処理施設着工(12月)
- 16年 倉石東部地区処理施設供用開始(10月)

使った水は、汚水処理施設によりきれいな  
水に生まれ変わります。

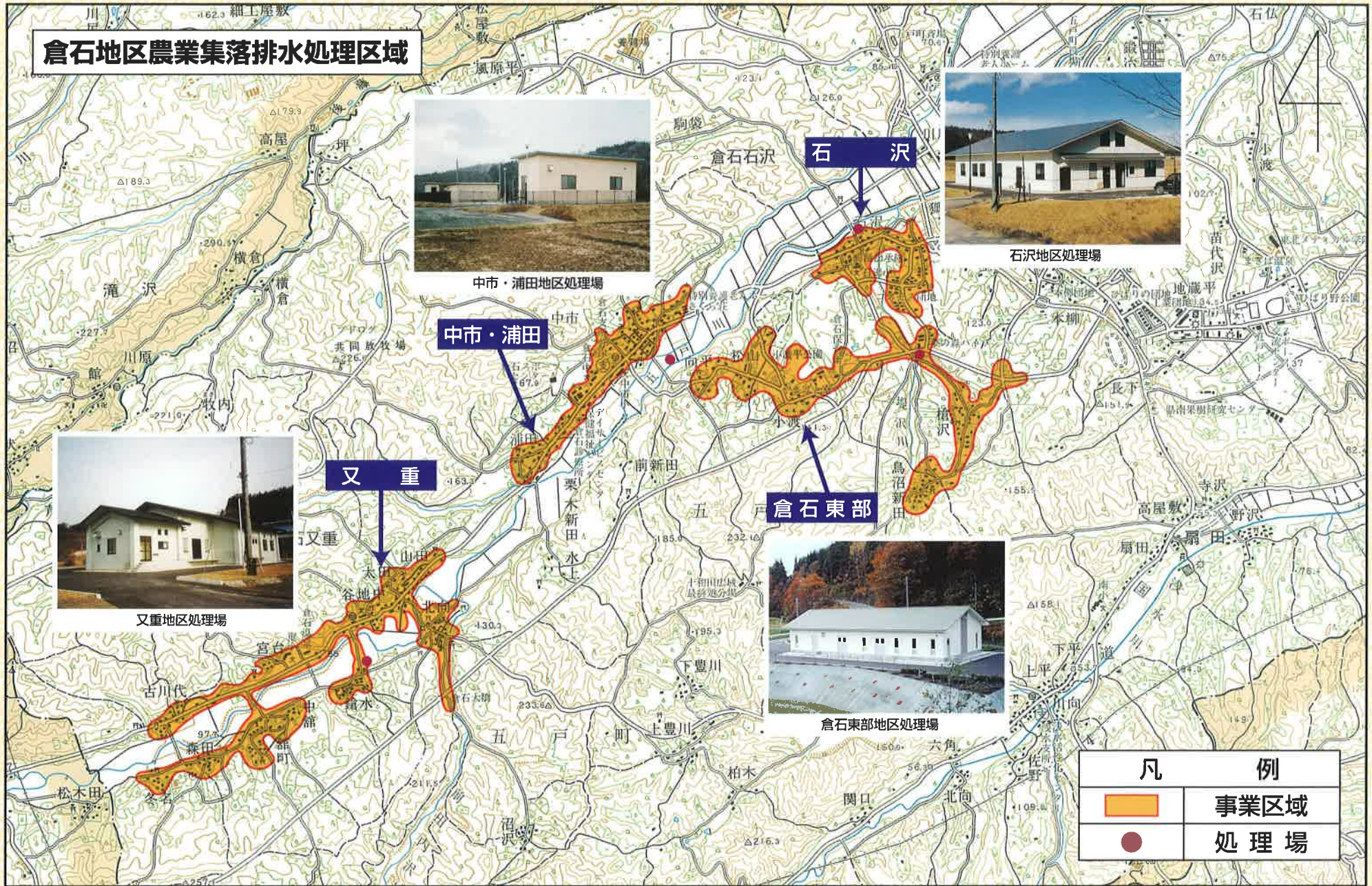


〈各家庭〉





# 倉石地区農業集落排水処理区域



豊かな自然を未来につなげる農村下水道